



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第116号(2013年9月30日)



【カタールW杯に新たな暗雲が】

カタールW杯の夏の開催については問題があるとFIFAが発表した件を受けてカタールW杯関連の報道が若干増えてきたように思えますが、気温の問題のほかに、新たな問題が出てきました。既報の通りW杯準備にあたって外国人労働者の労働環境について一部から問題視されていましたが、ガーディアン紙の報道によれば、ネパール人の労働者が中世の奴隷に近いような扱いを受けているとのこと。すでに組織委員会はカタール政府が問題について調査するであろうと発表しており、またFIFAも懸念の意を表明しています。

カタールではワールドカップ開催のために莫大な資金を投じての建設作業などが進められており、職を求めて移民してくる労働者が多数いるとされています。しかし一部報道によれば、50度にもおおよぶ気温の中で、水も与えられず働かされる、あるいはパスポートを取り上げられる、あるいは強制労働が行われているといった話が出ています。ガーディアン紙によれば、6月4日から8月8日にかけてネパール人労働者44名が死亡しているとのこと。

ネパール政府はこの問題に関連してカタールから大使を本国に召還しています。大使はこの問題についてカタールのことをかなり辛らつにコメントしていたこともあり、カタール政府から強い反発が出ていました。

組織委員会はこういった問題についての取り組みを促した上で、今回のワールドカップの開催がカタールに住む全ての労働者の生活環境の改善に向けてのカタリストになるよう目指したいと発表しています。

一部では開催国の変更を求める意見が出てくる可能性、なかには日本での開催の可能性が出てきたといった報道も散見されますが、カタールW杯問題がどうなるのか注目されます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイ運河が世界遺産の候補に】

ドバイ運河はドバイの中心にあり、長さ14km、幅は100メートルから500メートルに及ぶもので、市街地を二つの部分に分け、ドバイの経済発展で主要な役割を果たしてきました。

ドバイの当局は1月に世界遺産入りを目指して提案書を提出しており、来月にはユネスコから専門家が訪れて、世界遺産としてふさわしい要件を満たしているかどうか確認が行われる予定です。最終的な決定は2014年の6月頃になると予定されています。



【サッカー選手の高額移籍金の背景に中東のオイルマネーが】

この夏のプレミアリーグの移籍金総額は一説では6億3,000万ポンドにも及び、昨年と比べて29%増となり、これまでの記録であった2008年の5億ポンドも超えたとのこと。

移籍金の高騰の一因として、マンチェスター・シティ、あるいはパリ・サンジェルマンといった有力チームのオーナーが中東系となり、潤沢なオイルマネーが流れ込んでいることが示唆されています。一方で、新たに結ばれた放映権についての収入がプレミアリーグの各クラブにもたらされたことも移籍金高騰の一因だと指摘されています。

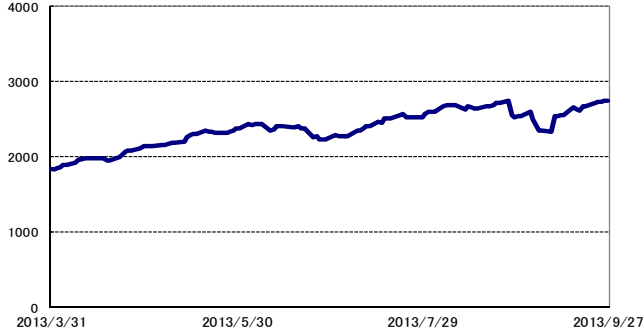


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなから補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

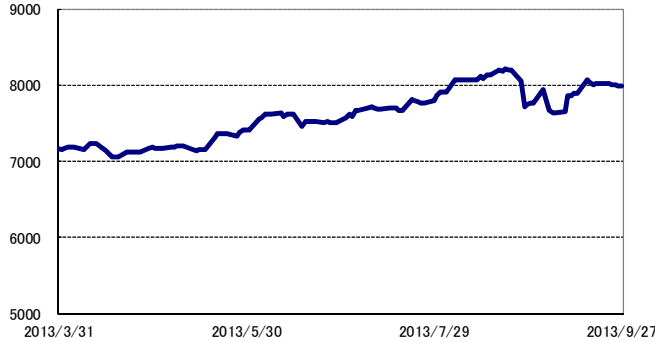


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

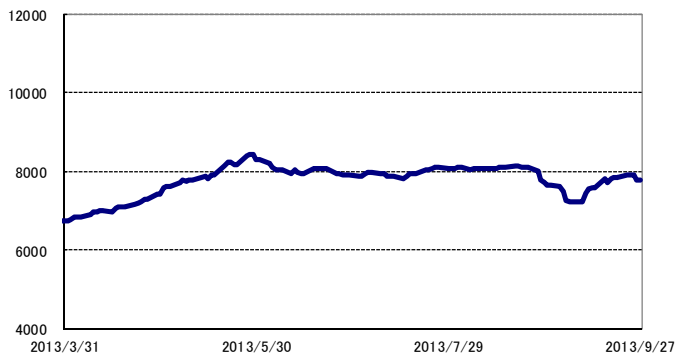
ドバイ金融市場総合指数



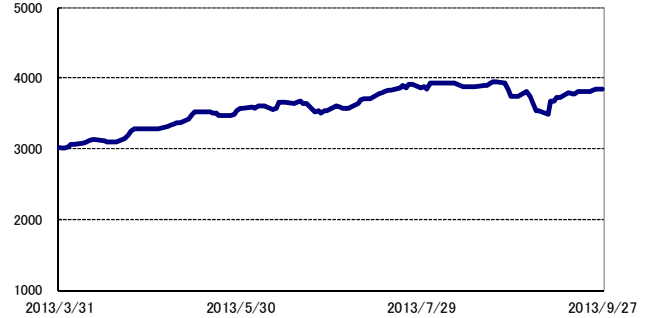
サウジアラビア タダウル全株指数



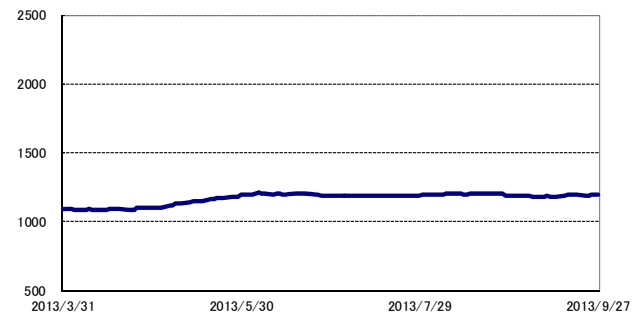
クウェート証券取引所指数



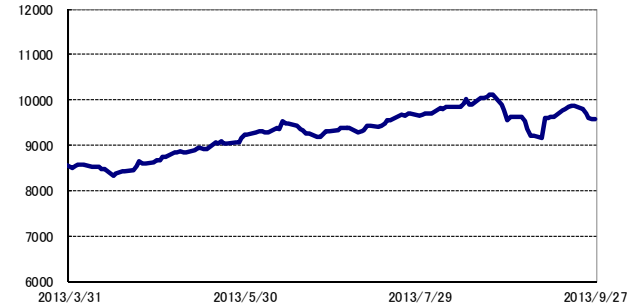
アブダビ証券取引所株価指数



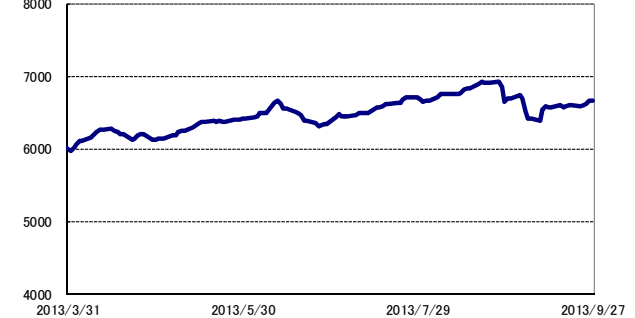
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。